

研究会開催通知

(昭和 57 年 4 月 15 日～5 月 31 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
ソフトウェア工学	5月7日(金)	13:30～17:00	機械振興会館	下記参照
日本文入力方式	5月12日(水)	14:00～17:00	第32森ビル	同上
データベース・システム	5月20日(木)	13:30～17:00	同上	同上
記号処理	5月20日(木)	13:30～16:30	同上	同上
コンピュータビジョン	5月20日(木)	13:00～17:00	名大	同上
分散処理システム	5月21日(金)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
自然言語処理	5月21日(金)	9:30～17:00	K D D	同上
マイクロコンピュータ	5月28日(金)	14:00～17:00	第32森ビル	同上

◆ 第23回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 木村 泉, 代表幹事: 久保未沙, 花田収悦)

- 日 時** 昭和 57 年 5 月 7 日 (金) 午後 1 時半～5 時
- 会 場** 機械振興会館 地下 3 階 2 号室
 [東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷ー東京タワー線東京タワー, 等々力ー東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211]
- 議 題**
- (1) ソフトウェア・テストにおけるエラー検出力の個人差
 武田健二 (日本 IBM)
 [概要] ソフトウェア・テストのエラー検出力に大きな個人差があるという仮説を, 実験例をもとに考察する.
 - (2) 設定参照グラフを用いたプログラム誤り自動検出法
 堀田博文, 西沢 護, 永瀬淳夫, 細谷僚一 (横須賀通研)
 [概要] 変数の設定参照誤りや値域違反等のプログラム誤りを精度よく検出するソースプログラムの解析法について述べる.
 - (3) 既存プログラム群再文書化の一手法
 落水浩一郎 (静岡大・工)
 [概要] 5 年間にわたって毎年改良がなされたが文書化が不十分であった一連のプログラムを, われわれが開発したプログラム設計用図式によって再文書化した. この経験に基づき, 再文書化上の問題点と再文書化にあたって有益なソフトウェア・ツールについて考察する. あわせて版管理に関する一手法を提案する.
 - (4) Software Desing Process: Chrysalis Stage under the Control of Designers
 伊藤 潔 (上智大), 田畑孝一, 大野 豊 (京大・工)
 [概要] 処理要求駆動型ソフトウェアシステムの設計方法論 (双対設計法) とその計算機援用ツール (Duviss) の概要.

◆ 第 5 回 日本文入力方式研究会

(発表件数：3 件)

(主査：高橋秀俊，代表幹事：藤崎哲之助，山田尚勇)

日 時 昭和 57 年 5 月 12 日 (水)，午後 2 時～5 時

会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第二会議室

〔東京都港区芝公園 3-4，地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，国電：浜松町下車，バス：渋谷—東京タワー線東京タワー，等々力—東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車，機械振興会館並び浜松町寄り徒歩 1 分，東京タワー向い。Tel. 03 (433) 2211 (大代表)〕

議 題 (1) 録音リライト業務におけるワード・プロセッサ

竜岡 博 (リップス)

〔概要〕 2 年間の使用経験を踏まえての，反省を述べ，その改善点を要望する。

(2) 日本文入出力処理における「外字処理」

大倉信治 (日本語処理コンサルタント)

〔概要〕 日本文の入出力実務上，いわゆる「外字処理」と称されているものの合理的な定義を提案し，実務上の標準化に至る問題点を指摘する。

(3) 字形検字方式による漢字入力の一方法

磯道義典 (広島大)，新谷順子

〔概要〕 漢字をその構造に基づいて符号化し，簡単な装置で入力する字形検字方式の一方法について述べる。

◆ 第 30 回 データベース・システム (データベース管理システム) 研究会

(発表件数：4 件)

(主査：酒井博敬，代表幹事：有澤 博，吉田郁三)

日 時 昭和 57 年 5 月 20 日 (木) 午後 1 時半～5 時

会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第一会議室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) CODASYL の末端利用者機能

植村俊亮 (電総研)

〔概要〕 このたび公開された CODASYL End User Facility Committee Journal of Development を中心に，CODASYL 方式のデータベースシステムにおける末端利用者機能を考察する。

(2) 柔構造関係データベース

大保信夫，木村 裕，細井拓史，

益田隆司 (筑波大・電子情報工学)

〔概要〕 本研究報告では，関係データベースの意味論的構造の柔軟な記述を可能とするモデルおよびそれに基づく DBMS について述べる。

(3) RDB アクセス経路選択アルゴリズムの評価

水摩正行，日吉茂樹，渡辺正信 (日電・C&C 研)

〔概要〕 関係データベースシステムにおけるアクセス経路選択アルゴリズムを提案し，その効果をシミュレーションにより評価する。

(4) リレーショナル DBMS におけるドメイン概念の実現方式

武藤英男 (日立・シ研)

〔概要〕 リレーショナル DBMS においてデータインテグリティを維持するうえで有用な概念であるドメインのインプリメント方式について述べる。

◆ 第 21 回 記号処理研究会

(発表件数：5 件)

(主査：池野信一，代表幹事：黒川利明，中西正和)

日 時 昭和 57 年 5 月 20 日 (木) 午後 1 時半～4 時半
会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第二会議室 (所在地は前記参照)
議 題 (1) Simplified Problem Reduction Format とその応用

長坂 篤 (沖電気)

〔概要〕 定理証明システム Simplified Problem Reduction Format の紹介と Prolog との関連およびその実現について述べる。

(2) PROLOG の記号処理への応用 横田 実, 梅村 護 (日電・C&C 研)

〔概要〕 PROLOG のユニフィケーションにおけるパターンマッチング機能を強化した, 記号処理言語への拡張について述べる。

(3) 新高速文字列処理手法とその評価 角田博保 (電通大)

〔概要〕 SNOBOL 3 の処理系をもとにして開発した文字列の新高速処理手法とその評価について述べる。

(4) Alps II の free storage 処理機構

佐藤 衛, 井田昌之, 間野浩太郎 (青学大・理工)

〔概要〕 Alps II の free storage はバルク・メモリ上に割付けられているが, その処理の特徴について発表する。

(5) Extended Euclidean algorithm 佐々木建昭 (理研)

〔概要〕 拡張されたユークリッドのアルゴリズムで計算される多項式の行列式表現 (複数) を提示し, その計算に部分終結式アルゴリズムが使えることを示す。

◆ 第 18 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 福村晃夫, 代表幹事: 高木幹雄, 鳥脇純一郎, 田村秀行)

日 時 昭和 57 年 5 月 20 日 (木) 午後 1 時～5 時
会 場 名古屋大学大型計算機センター演習室 (5 F)

〔名古屋市千種区不老町, 国鉄: 名古屋駅より, 地下鉄東山線藤ヶ丘行にて本山下車, 徒歩 10 分, Tel. 052 (781) 5111〕

議 題 (1) 多面体の合同判定のための $n \log n$ アルゴリズム 杉原厚吉 (名大・工)

〔概要〕 2 個の多面体が合同であるか否かを判定するための効率のよい方法を提案する。

(2) 指紋パターンの自動分類 河越正弘, 棟上昭男 (電総研)

〔概要〕 指紋パターンを, Relaxation 法を用いて平滑化すると同時に, 特異点を見出し, それらのまわりの流れの様子を調べることにより, その細分類を行う方法について報告する。

(3) 画像の構造的学習・認識システム 富田文明 (電総研)

〔概要〕 多種類の画像を扱うことをめざした画像解析システムの試作例を報告する。本システムでは, 対象物を抽出するための一連の処理手順と対象物の種々の特徴が対話的に学習され, 画像認識のためのモデルが構築される。

(4) 画像処理プロセッサの最近の動向

坂上勝彦 (電総研), 木戸出正継 (東芝・総研)

〔概要〕 画像処理専用の高速プロセッサの新しいアーキテクチャの提案や試作が活発である。会誌 (Vol. 21, No. 6) における解説以降の話題について, 研

究開発の動向を概観し、特に興味深い例を詳述する。

(5) X線 CT 像の3次元表示に関するサーベイ

横井茂樹 (三重大・工), 鳥脇純一郎 (豊橋技科大),
福村晃夫 (名大・工)

〔概要〕 多断面のX線 CT 像の持つ3次元情報を表示する種々の方式について概説する。

(6) 見学: 名古屋大学・大型計算機センターにおける画像関連設備

◆ 第13回 分散処理システム研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 戸田 巖, 代表幹事: 田中英彦, 村上國男)

日 時 昭和57年5月21日(金) 午後2時~5時

会 場 機械振興会館 地下3階2号室 (所在地は前記参照)

議 題 *当日は3件の発表を予定しております。詳細は次号(第23巻第5号)に掲載いたします。

◆ 第31回 自然言語処理研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 長尾 真, 代表幹事: 田中穂積, 野村浩郷, 辻井潤一)

日 時 昭和57年5月21日(金) 午前9時半~午後5時

会 場 国際電電(KDD)研究所 1階第一会議室

〔東京都目黒区中目黒 2-1-23, 山手線: 恵比寿駅西口下車, 山手線の外側三井銀行の左を入り, 徒歩7分, Tel. 03 (713) 0111〕

議 題 (1) 文節を最小単位とするわかち書き文のローマ字漢字変換

千葉和彦, 浅見 徹, 樽松 明 (KDD 研究所)

〔概要〕 文節を最小単位とするわかち書きローマ字文を漢字カナ混じり文に変換するシステムにおける, 変換方式と誤変換再処理方式について述べる。

(2) 国際電話のステーションコール受付を対象とする質問応答システム

浅見 徹, 谷戸文廣, 樽松 明 (KDD 研究所)

〔概要〕 キーワード対応法による質問応答システムを国際電話のステーションコール受付時の会話モデルに応用した結果について述べる。

(3) ヨーロッパにおける計算言語学の様子 辻井潤一 (京大・工)

〔概要〕 筆者はフランスのグルノーブル大学に長期滞在する機会を得た。そこでの研究の様子と, ヨーロッパ各地での計算言語学の現状を報告する。

(4) 日本語スクリーンエディタ JMACS の機能

齊藤康己, 野村浩郷 (武蔵野通研)

〔概要〕 日本語や英語のテキストおよび辞書, さらにプログラムなどを取り扱う日本語処理用プログラミング環境の核となるスクリーンエディタ JMACS の機能を中心に述べる。

(5) 意味表現用言語の SRL 機械翻訳への応用

田中穂積, 元吉文男 (電総研), 安川秀樹 (松下電器)

〔概要〕 日本語の意味抽出実験 EXPLUS で筆者等は知識表現用言語 SRL を提案した。これを用いた機械翻訳の方式を提案する。

(6) 機械翻訳に関する1つのアプローチ

市山俊治, 村木一至 (日電・C&C 研)

〔概要〕 プロログを用いた機械翻訳実験の結果を報告するとともに、その実験を行うにあたって解決した問題と残された課題について報告する。

(7) 日本語モンテギユ文法の実働化と質問応答への応用

松本裕治, 田中穂積 (電総研)

〔概要〕 Prolog 上でインプリメントした日本語モンテギユ文法を紹介し、その質問応答システムへの応用について述べる。

(8) 文音声変換におけるアクセント付与規則の検討

壁谷喜義, 石川浩一郎 (横須賀通研)

〔概要〕 かな文字と簡単な付加情報で表現された日本語文章から自然性の高い音声を合成するために必要な韻律情報 (アクセント, ポーズなど) を自動設定するアルゴリズムおよびその評価について報告する。

◆ 第 21 回 マイクロコンピュータ研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 石田晴久, 代表幹事: 木村友則, 鷹野 澄)

日 時 昭和 57 年 5 月 28 日 (金) 午後 2 時 ~ 5 時

会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第一会議室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) パソコン PC-8001 上で走るデータ記憶専用の仮想記憶システム

佐々木彬夫 (佐々木事務所), 都筑詞郎 (東洋製作所)

〔概要〕 PC-8001 向きにデータ記憶用の仮想メモリを開発した。バンク切替による主記憶の拡張とディスク 4 台を通して 1 個のランダム・ファイルとして使えるファイル管理を行っている。

(2) スーパーパソコン (Apollo/Domain) のアーキテクチャ

山村紀夫, 堀尾章一 (日本ラッド)

〔概要〕 68000 ベースのスーパー・パソコン Domain のネットワーク指向アドレスリングを特徴とするアーキテクチャにつき、その設計思想、機能、処理方式などについて述べる。

(3) 日本語端末としてのパーソナル・コンピュータ

石田晴久, 牛丸 守 (東大)

〔概要〕 最近の高級パソコンは漢字表示機能をもっているから、日本語端末として使うことが可能である。本稿では、BASIC や Pascal で開発した漢字端末用ソフトウェアやその問題点について報告する。

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

今年度は年 4 回の開催を予定しております。6 月 (東京), 9 月 (東京), 12 月 (大阪・電子通信学会電子計算機研究会と共催), 3 月 (東京)。発表希望の方は、開催前々月の 5 日までに事務局研究会係までお申込みください。

第 23 回通常総会のお知らせ

昭和 57 年度通常総会を 5 月 19 日（水）13：30 から機械振興会館大ホール（B2）で開催いたします（詳細は前号本欄参照）。また、総会の案内状は 4 月下旬郵送いたしますので、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。なお、総会后特別講演（14：40～15：40）をおこないますので、多数のご出席を期待しております。

「基礎と応用」——輪廻が技術革新

坂井利之（元副会長）

第 25 回全国大会（昭和 57 年後期）について

このたび東京電機大学で開催されました第 24 回全国大会は、初日が休日にも拘らず延 4,000 名をこす参加をえまして、盛況のうちに恙なく終えることができました。会員の皆様のご協力ありがとうございました。

早速ながら、すでに前号本欄で会告いたしましたように、秋の第 25 回全国大会は九州支部設立を記念して下記により開催されます。次号本欄に一般講演申込み要領をお知らせいたしますので、ご留意ください。

記

日 時 昭和 57 年 10 月 19 日（火）、20 日（水）、21 日（木）
会 場 九州大学工学部・理学部（福岡市東区箱崎）

6th ICSE Tools Fair への出展案内

第 6 回ソフトウェア工学国際会議（1982 年 9 月 13～16 日、学習院大学）に並設して、マイコン（パソコン）を利用したソフトウェア・エンジニアリング・ツールに焦点を絞った Tools Fair が開かれます。出展ご希望の方は、下記により、早目にお申出ください。

記

○ 出展料 無料

ただしマシンの持込み費用等は出展者の自己負担とします。なお、標準的な機種は事務局側で用意する予定ですのでソフトだけの出展も可能です。

○ 申込締切り 6 月末日

○ 申込みおよび問合せ先

（展示担当委員）

岸田 孝一（SRA） Tel. 03 (234) 2611

楠原 千秋（沖） Tel. 03 (454) 2111 内線 2460